

スペイン 1万本以上の違法マンダリンを排除

[FreshPlaza](#) 2025年6月17日

ORCは2024-25年度シーズン中に1万本以上の違法なオットリマンダリンを排除

オットリ(Orri)品種運営委員会(ORC)は、2024-25年度シーズン中にバレンシア、カステリオン(以上バレンシア州)、ムルシア(ムルシア州)、セビリア(アンダルシア州)の各県の農場に存在した10,285本の違法なオットリマンダリンの木を排除した。これと並行して、ORCは、モンコファ(カステリオン県)、ロリギージャ(バレンシア県)、ボルーリョスデラミタシオン(セビリア県)及びムルシア(ムルシア県)の各町にある5千本以上の無許可の果樹に対して新たな法的措置を開始した。

同委員会はその創設以来、市場で数少ない限定的で管理されたライセンス制度の対象品種の1つであるオットリマンダリンの法的保護と厳格な管理にしっかりと取り組んでいる。

産業財産権を監視及び擁護するため、ORCは農業食品セクターでは先駆的な管理制度を採用している。これは、現場の疑わしい園地をリアルタイムで特定でき、高解像度の衛星画像を取得できる同委員会が開発したアプリケーション(OrriApp)や、違法な果樹園の空中からの検出を可能にするマルチスペクトルカメラを搭載したドローンなど、最先端の技術ツールを組み合わせている。

ORCのギジェルモ・ソレル事務局長は、「この技術により、スペインとポルトガルで無許可のオットリ品種が植えられた果樹園をほぼすべて特定することができた。これは、合法で公正かつ持続可能な農業モデルを保護するために、革新的な技術をいかに活用できるかを示す一例である」と述べた。

また、スペインとポルトガルにおけるオットリ品種のマスターライセンシーであるTEO社(The Enforcement Organization, S.L.)は、同品種を市場で流通する他の品種と区別するための独自の分子マーカーを持っている。これは、主要な研究センターと共同開発したものである。

ORCの管理モデル

昨シーズンは、マドリード、バルセロナ、バレンシア、ビルバオ、サラゴサの各都市の販売店で1千件以上の検査が実施された。ほとんどの場合、見出された不備は軽微で、掲示の誤りに関連しており、法的な表示の義務には抵触していなかった。

ソレル事務局長は、「他の管理会社は、管理対象である品種の生産を制限しておらず、食品の安全性と持続可能性の基準がスペインの生産者に要求されるよりもはるかに低いモロッコ、トルコ、エジプトなどの第三国での拡大を推進している」と述べた。

同事務局長は「対照的に、オットリは保護された品種であり、生産量は限定され、厳格で信頼性の高い管理が行われている」と強調し、「当委員会は生産者にしっかりとコミットしており、彼らが公正な収益を得られるようにその利益を守っている。我々は、バリューチェーン全体に悪影響を及ぼし、将来に向けたより良い新品種への投資を阻害する植物の権利侵害や不公正な競争と闘っている」と述べた。

TEOは近年、合わせて9万8千本以上の木を無断で植えた生産者達に対して、合計150件の法的措置に着手した。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)